

平成 19年 12月

下雅意るり 学位論文審査要旨

主 査 井 藤 久 雄
副主査 紀 川 純 三
同 寺 川 直 樹

主論文

Expression of hypoxia-inducible factor 1 α gene affects the outcome in patients with ovarian cancer

(HIF 1 α 遺伝子発現は卵巣癌患者の予後に影響を与える)

(著者：下雅意るり、紀川純三、板持広明、井庭貴浩、金森康展、大石徹郎、
島田宗明、佐藤慎也、川口稚恵、佐藤誠也、寺川直樹)

平成20年 International Journal of Gynecologic Cancer 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

上皮性卵巣癌患者から採取した腫瘍組織を用いて、HIF-1 α 遺伝子発現と予後について検討した論文である。HIF-1 α 遺伝子発現量と臨床進行期の間に関連はみられなかったが、HIF-1 α 遺伝子高発現のものは有意に予後不良であった。多変量解析の結果、HIF-1 α 遺伝子発現は臨床進行期および年齢とともに独立予後因子となった。

本研究は新知見に富むものであり、その結果は婦人科腫瘍学研究に貢献するとともに明らかに学術の水準を高めたものと認める。